

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造		
	施策	1	低炭素社会	地域環境部	宮崎 正秀

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 市民の環境問題についての理解を深め、市民一人ひとりが省資源・省エネルギーに取り組むことにより、環境への負荷が少ない持続可能な社会の創造を目指します。

2. 令和2年度の実施内容及びその成果



・名張市地球温暖化実行計画に従い、各施設で使用する電気、ガス、石油などの削減に努め、温室効果ガス排出削減を進めました。
 ・冷暖房の温度管理・稼働時期の徹底や事務所の消灯など名張市環境マネジメントシステムを実施しました。
 ・クールビズ(5月1日～10月31日)・ウォームビズ(11月1日～3月31日)、クールアースデーに合わせたライトダウン(7月7日)に加え、ライトダウン・みえに協賛し(7月15日、8月19日)の計3回のイベントなどを行うことで、事業所としての省エネルギーに取り組みました。
 ・省資源・省エネルギーの啓発・展示を実施しました。
 ・コロナ禍の中でも手法を変えてエコ通勤デーに取り組みました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	91.0	0.0%
	成果	86.4	86.5	83.2	82.7			
環境マネジメントシステム導入事業所数(事業所)	目標	-	-	-	-	-	24	0.0%
	成果	17	17	17	17			
市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	目標	-	-	-	-	-	11,773	97.4%
	成果	12,380	12,380	12,256	11,789			

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・第三次なびり快適環境プランに基づき、地球温暖化対策、省資源・省エネルギーの取組を進め、市民や事業者への啓発を進める必要があります。
 ・エコ通勤デーについては、昨年度同様、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮しつつ実施する必要があります。
 ・SDGsやカーボンニュートラルの取組を推進していく必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和3年度以降)



・第三次なびり快適環境プランに基づき、市が省資源・省エネルギー行動を積極的に実施し、市民や事業者に対して啓発を行います。
 ・令和3年度の第三次なびり快適環境プランの中間見直しとなり、SDGsやカーボンニュートラルの視点をとり入れた施策を推進します。
 ・コロナウィルスの影響が長期化した場合であっても、地球温暖化対策などの周知・啓発などが持続的に行えるよう、インターネットなどを活用した取組を進めます。